

# 一般質問(要旨)



村田 康成 議員  
いばらき自民党  
神栖市選出

## 鹿島臨海工業地帯におけるカーボンニュートラルの取組

**議員** 鹿島臨海工業地帯が今後本県産業をけん引するにはカーボンニュートラル産業拠点創出推進基金<sup>※1</sup>の活用や企業などへの投資促進も重要である。どう取り組むか。  
**政策企画部長** 三菱ケミカル株式会社との戦略的パートナーシップ協定の締結をはじめ、産学官の連携強化を図っている。200億円の基金も生かしながら、企業の投資を1件でも多く呼び込み、鹿島臨海工業地帯のカーボンニュートラルの取り組みを全力で進める。



大和田 寛樹 議員  
いばらき自民党  
石岡市選出

## デステイネーションキャンペーンを起爆剤とした観光振興

**議員** ポストコロナを見据えた観光振興の起爆剤とするため、来年開催のデステイネーションキャンペーンに今後どう取り組むのか。  
**知事** デステイネーションキャンペーンが本県観光振興の起爆剤となるよう、引き続き、JRや市町村などと密接に連携し、インパクトのあるコンテンツ開発や話題性の高いプロモーションに取り組むことで、交流人口の増加と観光消費の拡大を図り、持続性のある稼げる観光を実現していく。

## 波崎漁港の整備と水産業の振興

**議員** 神栖市波崎の漁業の振興には、波崎漁港の後背地整備と波崎ブランドの確立が重要である。漁港の今後の展望と水産業の振興は。農林水産部長 入港・水揚量を増やすことが重要であり、大型漁船が安心して入出港できるように、防波堤の延伸などを進める。大規模水産加工場の建設を可能とする用地造成や道路・水道などを整備し、生産・流通基盤の強化を図る。  
(ほかに、本県及び鹿行医療圏における医療政策、神栖市での高校教育の充実なども質問)



今後の整備が期待される波崎漁港

## 教職員の働き方改革の推進

**議員** 教職員の働き方改革は、教職員が本質的な業務に専念できるように、勤務環境の改善を着実に実施していくことが重要と考えるが、今後どう推進していくのか。  
**教育長** 教職員が本来やるべき業務を精選するとともに、ICT化による事務の効率化を進め、教職員一人一人が、意欲とやりがいを持って本務に臨めるよう、働き方改革の推進に取り組んでいく。  
(ほかに、デジタルデバйд<sup>※2</sup>対策、養育費確保に向けた支援の充実なども質問)



本県観光振興の起爆剤に



村本 修司 議員  
公明党  
日立市選出

## 県北地域におけるものづくり力を活かした産業振興

**議員** 県北活性化には中小製造業の再興が近道であり、既存事業の拡大・拡充やつくば地域を中心とするベンチャー企業や大学・研究機関とのマッチングが重要と考えるが、今後どう取り組むのか。  
**産業戦略部長** 今年度から産業支援機関と連携し、マッチングの場を設け新製品開発などを促進していく。今後、県北地域の企業にマッチング会参加を呼び掛けるとともに、県の制度融資や基金などにより企業ニーズに応じた支援を行う。



設楽 詠美子 議員  
いばらき自民党  
立憲市選出

## 有機農業の推進

**議員** 有機農業の底上げのためにも、販路先を学校給食に求めることは重要であり、茨城版オーガニック学校給食の実現に向けて有機農業の推進にどう取り組むのか。  
**農林水産部長** 生産者などで組織する「いばらきオーガニック推進ネットワーク」で有機農産物の供給先として学校給食も選択肢に入れつつ、販路拡大への取り組みを後押しする。また、有機農業の推進に向け、機材導入支援や販路開拓のプロモーションを実施する。



有機農産物を学校給食へ

## 高齢者の移動手段確保のための未来型交通システムの構築

**議員** 高齢者の移動手段には、自動運転による人手不足解消やコスト低減に加え、AIを活用した呼出型最適経路バスのような利便性が重要だと考えるが、所見は。  
**政策企画部長** 県内外の実証実験を通じて得られた知見を、関係者間で共有するなど、市町村や交通事業者などとの連携の下、デジタル技術も活用しながら高齢者の移動手段の確保に取り組む。  
(ほかに、新産業廃棄物最終処分場建設における地域振興、大人の発達障害の支援なども質問)



高萩市AIバス「のるる」

## 子どもの育みのための森のようちえん<sup>※3</sup>、ピアサポート<sup>※4</sup>、性別平等のための生命の安全教育

**議員** 子どもたちには、森のようちえん、ピアサポート、生命の安全教育を通して、乗り越える力や支え合う心を育んでほしいが、茨城県で生まれた子どもたちをどのようにつくって育んでいくのか。  
**教育長** 命を尊ぶ心や他者への思いやり、規範意識や自主性、自己肯定感などの育成が重要であり、子どもたちの未来のため、豊かな心の育成に取り組んでいく。  
(ほかに、安心して生涯を暮らせる茨城県づくり、医師確保と医学部新設なども質問)

## 「茨城県議会と流通経済大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施

茨城県議会と流通経済大学との相互連携・協力に関する包括協定の締結を記念し、議会および大学で講演会などを開催しました。

7月21日、「光り輝く夢と希望にあふれた茨城の実現」と題し、学生の県議会に対する理解を深めるとともに、地域課題への関心や地域への愛着を深めることを目的として、伊沢勝徳議長が流通経済大学龍ヶ崎キャンパスで講演および学生との意見交換を行いました。伊沢議長から学生に対して、県議会の機能や取り組みなどを説明し、それに関して学生と活発な意見交換が行われました。

また、9月7日には、「ラグビーワールドカップまでの軌跡・サンウルブズ創設を背景に」と題し、流通経済大学の上野裕一学長が県議会議事堂で講演を行いました。上野学長は、ラグビーワールドカップ2019委員長・組織委員会理事などを歴任されており、アジアで初開催となったラグビーワールドカップ2019でベスト8入りした日本の人材発掘や育成などの強化過程などについて講演し、県議会議員と県執行部などの職員が聴講しました。

今後も、大学が持つ知見を議会の政策立案機能に生かすとともに、本県の将来を担う人材の育成を図るなどの取り組みを進めてまいります。



流通経済大学で講演する伊沢勝徳議長



県議会議事堂で講演する上野裕一流通経済大学学長



流通経済大学の学生と意見交換をする伊沢勝徳議長

ことば ※3【森のようちえん】…自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称。  
※4【ピアサポート】…仲間同士が支え合う関係をつくる活動のこと。